兵庫支部NEWS　H15　1月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部　　編集人　福田 要・安徳信義

k-fukuda@cello.ocn.ne.jp　0795-44-1189

購読料 12回 1,500円（送料込）
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座 00980－5－184445
口座名 北九州市立大学同窓会兵庫

新年にあたり兵庫支部の皆さんへ

同窓会長　江口博明

新年明けましておめでとうございます。

兵庫支部同窓生の皆様におかれましては、健やかに希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

北九州市立大学同窓会は４７支部より組織され、各支部の結束を基礎として本部は成立しています。私個人としましては兵庫支部といえば、東京、関西、福岡等の各支部と比較し、その活動は地味な感じを持ちがちでした。しかし、実は過去の歴史から他支部では考えられない程の会員皆様の充実した繋がりを知る事が出来ます。それはホームページの開設であり「三金会」「ゴルフ同好会」「歩こう会」「囲碁の会」そして「Ｅ－Ｍａｉｌ会」等他支部では見ることの出来ない支部活動であります。たしかに兵庫県という県名は私にとってはなじみが薄く考えがちでしたが、神戸市を思えば日本文化の流入の都市であり世界へ目を向ける拓かれた都市です。この土地柄は同窓会支部にも存在しているものと思います。特に我が北九州市立大学は外事専門学校・外国語大学としてスタートしており、当然語学を必要とする企業への就職がなされ多くの同窓生が活躍されています。その世界に目を向けた精神を持つ素晴らしい同窓生皆様の支部が組織化されたものと思います。力強さを感じさせる支部だと改めて認識し確信している次第です。

ところで現在我が国の社会は我々が過去に経験した事の無いデフレという不透明な中にあり、また不況という将来に対しての不安感を募らせる企業経済の状況の中ですが、我々同窓生はより結束を強め将来への安定と発展を求めて行きたいものです。

今年は同窓会総会を東京支部主催のもと東京で開催する事が決定しております。４年前関西支部の皆さんのもと初めて小倉以外の地で同窓会総会を開催致しましたが、この時は兵庫支部の皆様にも多大なるご協力を得ました。当日の盛大な総会と懇親会は忘れる事のできないものでした。現今の厳しい社会状況の中ではありますが、今年の総会も京都総会と同様に兵庫支部皆様のご協力を賜り、多くの皆様に出席して頂けますよう願っております。

新しい時代への出発点、それは兵庫という世界に目を向けた地が、北九州市立大学同窓会への新しい血を注ぐ支部と期待し、兵庫支部のご発展を心からお祈りいたします。

兵庫支部の皆様へ

学長　吉崎泰博

新年あけましておめでとうございます。今年も皆様良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。『兵庫支部 news』や支部のホームページを通して、皆様が活発な活動をいろいろと展開しておられ、楽しそうに交流しておられる様子を嬉しく拝見しました。

ここ数年、北九州市立大学は全国の大学の中でも目立って急成長しています。一昨年に国際環境工学部が設立され、昨年は文系の大学院博士課程も発足し、今春には工学系の大学院博士課程がスタートします。現在準備中の大学改革が実現すれば、教育効果が飛躍的に高まり、各方面において北九大の実力がさらに向上することでしょう。

大学は今、「冬の時代」と言われ、定員割れのためサバイバルの危機に直面している大学も多数ありますが、北九大は勝ち組として成長を続ける覚悟ですので、兵庫からも熱い声援をよろしくお願いします。

「初日の出」をビーナスブリッジ

「初詣」を生田神社で

S36　商　高尾　巌

２００３年元旦午前６時２０分、参加者７人で集合場所の元町駅を出発、諏訪神社を経て、神戸港が一望できる「ビーナスブリッジ」に３０分で到着。大勢の人々と「初日の出」を待つ。あいにく東の空は雲がかかって日の出の時間より１０数分後、雲間から下界を照らす「御来光」を拝し、持参の甘酒、また山田錦の生一本で乾杯。ついで生田神社に初詣。各自今年一年家族の健康、また兵庫支部、各同好会の尚一層の発展を祈願した。

平成15年兵庫支部総会のお誘い

平成15年の北九州市立大学同窓会兵庫支部の総会は、昨年来より議題となり、七月開催と予定されていました。今回平成15年初頭1月17日の兵庫支部同窓会例会「三金会」において、

総会を７月６日（日曜日）

に開催することが決定されました。例年、同窓諸兄姉の久闊を叙すところとして、また思わぬ邂逅で予期せぬ歓びもあった兵庫支部同窓会総会です。本年も盛大な総会となりますよう、お誘いのうえ御参会をお待ちします。

日本・中国の架け橋「鑑真号」

S３９　米英　吉本富雄

奈良時代、中国にあって鑑真和上は戒律を伝授する江淮随一の高僧でした。天平 14 年(742)、いまだ僧律定まらぬ我が国から、授戒師招請のため栄叡・譜尚らが渡海しました。その要請をうけ、和上五十五歳、渡日を決意します。当時、唐の朝廷は和上に帰依篤く出国を許そうとしませんでした。その航海も遭難を覚悟する大事業で、一行は風波によるなど五度までも渡海に失敗、栄叡も死去。和上も苦難のため失明するほどでした。六度目の 753 年、和上六十六歳、やっと薩摩に到達することができました。

翌年四月、東大寺大仏殿の前に戒壇を築き、鑑真和上は聖武天皇以下四百余人に戒を授け、その後 759 年には唐招提寺を開き、律宗の拠点として戒律の普及に努めました。師の死去直前に造られた脱乾漆肖像（国宝）は、年に一度公開されています。

「鑑真号」は 1985 年、私の勤務する日中合弁企業「中日国際輪渡有限公司」（日中国際フェリー株式会社）により、第二次世界大戦終了後初めての連絡船として華々しく就航しました。当時は国際フェリー第一号として話題となり、マスコミにも盛んに取り上げられ、中国へ帰国する人達の大量の手土産(電器製品)、また春・夏の休みに運賃・ホテル･食事費など十万円で一ヶ月の旅の後、日焼けした大学生などで満席の日々が続き、映画にもなりました。残念ながら、1989 年 6 月天安門事件で一年ほどお蔵入りとはなりましたが…。

近年再び中国ブームで、乗客は増加。今年は 20％から 30％増加することでしょう。皆さん「新鑑真号」(1994 年 4 月新造)で、48 時間（２泊３日）の「悠久への旅」は如何でしょう。上海到着の朝、揚子江を上り支流の黄浦江に入れば、船の進行方向に摩天楼が朝もやに浮かびあがります。そこは往年「魔都」と呼ばれた上海、スリルとサスペンス、そして躍進する現代中国を象徴する都市上海が貴方をお待ちしています。

中東旅行記

S38　米英　二宮慶治郎

私は１９６８年３月に出国、香港、シンガポールを経て最初の目的地バーレンへ向かいました。バーレンに着くや東洋の世界とはガラリと変わり、しばらく慣れるまでは、まるで劇画の中に登場する様な気分になりました。ついでバーレンよりクウェート、イラク（バスラ、バグダッド）と歴訪し、当時内戦があるまではカジノもあって中東のオアシスと呼ばれたレバノン（ベイルート）。サウジアラビアのジェダ（巡礼客がメッカ参りする２０Ｋ手前のアデン(現イエメン)を経て、紅海はバス位の大きさのプロペラ機で渡り、灼熱のジブチ、アジスアベバ。しかしエチオピアの山岳地帯を越える時はは一挙に寒くなりました。それからカイロへでてリビアのベンガジ（リビアの第二都市、赤軍がＪＡＬ爆破で有名)、そして最終赴任地リビアのトリポリに到着したのは８月過ぎとなっていました。前任者は待ちわびて既に帰国。

当時日本経済は高度成長へと駆け上がる時期でした。輸出商品はトランジスターラジオからテープレコーダー、テレビジョンへと拡大、日本の各メーカーは熾烈な戦いでマーケット争奪戦を繰り広げていました。中東動乱直後で、アラブの人々はＴＲラジオにかじりつきながらニュースを聞く時代でした。会社は家電、電池にちからをいれ電池の輸出ではメーカー直系の商社さえ舌を巻くほどの業績をあげていました。

そのリビアで、革命に巻き込まれました。当時タイム誌が、この革命はテキスト通り実行されたと報じていました。８月休みを取った国王アイドリスがギリシャへ出国、その絶好のタイミングをねらいガタフィ少佐が９月１日王宮を占拠、流血なく無血革命に成功したのです。たまたま前日８月３１日、カジノドワダンというホテルで３０人ほどの日本人が集まって日本人会を結成し、そのとき作成した芳名録が早速役立ちました。名簿は領事館へ届けられ、現地にいる日本人が皆無事であることを伝えることができたのです。

当日の朝、滞在しているホテルから、いつものように私が代理店へ向かっているとポンポンと銃声が聞こえ、運動会でもやっているのかと思っていました。ところが兵士らに、ホテルへすぐ帰れと拳銃を突きつけられ即外出禁止となりました。その時 curfew と言う単語を覚えたものです。街はしばらく外出禁止のためか静かでした。当時カジノに、東欧から来ていた出稼ぎのアーチスト達も帰国出ず、滞在延長となっていました。ホテルに缶詰めの所在無さから、ある日皆してパーティを開きました。私でさえ、つたない「さくら」を歌ったものです。

当時イタリア人は植民時代に引き続き、４万人位トリポリに住んでおりました。未だイタリア色濃く、知識人はイタリア語を話していましたが、かのガタフィ少佐はイスラムに則り、禁酒令を施行してイタリア人たちの食前、食後の楽しみをとりあげ、結果リビアからの追い出しを目論んだのでしょうか。軍政には逆らえず次々とイタリア人達は出国して行きました。次に街の標識等外国語（ローマ字、イタリア語）は全部アラビア語に塗り替えられました。その年のクリスマスに、没収したワイン・ウィスキー等を外国人達には特別配給するという事で、多くの人が行列。だが、我が社３人の直前で在庫切れとなりました。しかし、台湾のナースと医者達が手にしたお裾分けを飲ましていただきましたが。当時ＶＩＳＡ期限３ヶ月。再取得のため新しいＶＩＳＡを近隣の国（イタリアかギリシャ）で取得して、再入国しなければなりません。革命前、代理店の親爺に依頼していましたが、ほったらかしにされており出国するのに気が気でありませんでした。だがその親爺の特別な手回しで、空港でもバッグの中をノーチェックで無事出国できました。当時、日本人たちの武勇伝をよく耳にしました。その話は次回。

囲碁の会より

S39　米英　銭谷勘一郎

お健やかに、さわやかな新年をお迎えの事と思います。昨年の第２回リーグ戦は６勝２敗どうしの山本３級と名越５級のプレーオフの結果、山本３級の優勝で幕を閉じました。

今年も１月例会から第３回リーグ戦を開始します。会員各位の熱戦を期待しています。

６０歳を過ぎると、なかなか上達する事は難しいといわれています。確かに体力の衰え、集中力の減退、等々、原因はあります。しかしながら、『今年は一つでも上を目指す』『死中、活あり、と死活の勉強をする』『厚くて地の多い布石』『ヨセに強くなる』とか、それぞれに目標を定めて、囲碁を楽しめば必ず上達すると思います。一年の計は元旦にあり、私も『中盤戦で悔いの残らない一手を』と致しました。

皆様に喜んでいただけるような企画、関西支部との親善試合、新会員拡大の為の勉強会など、実施したいと思います。囲碁に興味のある方は、気軽に御参加下さい。文尾となりましたが、兵庫支部皆さんの益々の御発展を祈念いたします。

S37　米英　山本信司

第２回兵庫支部三金会囲碁リーグ戦に勝つことができた。幸運続きであった。勝負を分けたのは実力より指し運の差であったと思う。私が碁を覚えたのは社会人になってからである。しかし、せっかく覚えたのに熱心さが足りないから一向に上達していない。定石も知らない。物事が上手になるのは、やっている期間の長さではなく、熱意や集中度の深さに比例するのであろうと思う。段位拾得者からみれば、私の碁はまだまだ未熟で「碁」まではいかず、「三か四」の類であろうか。でもヘボはヘボなりに面白い。

余生を送る身になって、今更あまり勝ち負けに拘泥するのも如何かとは思うが、ゴルフ同様成績が良くて悪い気はしない。再び気分を良くして旨い酒を飲みたいと思っている。

新年ご挨拶

Ｓ３７　米英　名越英昭

明けましておめでとうございます。同窓生の皆様方にはご家族揃って清々しい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃は同窓会支部活動にご協力賜り心から御礼申し上げます。

低成長から不況へと日本経済は長期間にわたり低迷を続け、デフレ経済の中、リストラ、賃金カットなど厳しい生活環境に見舞われており、ひったくり、保険金殺人など人々の心は荒んでしまったように思われます。

同窓生というだけの縁で、恰も古くからの付き合いであるかのように親しく話し合える同窓会はこの厳しい世の中でのオアシスのようなものと言えるでしょう。業種・年代の異なる人たちが一堂に会し、仕事上のあるいは家庭内の悩み事、相談事など腹蔵なく話し合える情報交換の場と言えます。

兵庫支部は昭和６１年１０月に発足して以来１７年経過し、その間毎年総会・懇親会を開催すると共に、年末には忘年会を催し、毎年新しい仲間が増えてきていることは誠にご同慶の至りです。

一昨年従来からのゴルフ同好会に加え、歩こう会、メール会、囲碁の会が発足し、昨年は新聞「兵庫支部 NEWS」が復刊され、毎月第三金曜日に開催されている月例会「三金会」とともに、支部活動がますます充実化されてきました。

今年の支部総会・懇親会は７月６日（日）に開催を予定し、より多くの同窓生に集まっていただきたいと願っていますので、今後とも兵庫支部活動によろしくご協力お願いして新年のご挨拶とさせていただきます。

インドよりナマステ（こんにちは）

Ｓ４４　米英　高森千賀子

インドの首都、ニューデリーから南東約 500ｋｍのところにカジュラーホーという人口 5･6 千人の小さな村がある。ここには 10･11 世紀にかけて気づかれた寺院群があり、ヒンドゥー寺院の外壁は天女像や男女交合像の彫刻で埋まれている。1986 年には世界遺産に登録され、世界各地から観光客が訪れている。

村の中心地から１ｋｍ離れた場所に、一昨年７月「メダカ小学校」を開校した。この学校は貧しい子供たちの学校で、」授業料を初めとして、制服、教科書、文房具等全て無料だ。私はボランティアとしてこの学校を経営している。現在、３歳から 10 歳までの生徒 34 名が在籍。私の他に２人の教師のもとで３クラスに分かれて勉強している。

校舎はレンガ造りの３部屋ある民家を賃貸している。学校には机や椅子はなく、生徒は床に布を敷いて座る。今の時期は教室内は寒いので、校庭に布を敷き、太陽の陽射しを浴びながらの青空授業だ。しかし、ここしばらくは気温が６・７度Ｃの日が続き、濃霧が発生し、外では無理なので教室内だ。生徒と共に「寒いねえ」を連発し、震えながらの授業である。

この寒さでも、靴やサンダルのない生徒は裸足で登校して来る。服は夏服だし、セーターといっても素材が綿やアクリルなので暖かくはないし、その上、穴だらけだ。今回も私のボランティアの後押しをして下さる同窓生の方々からの寄贈品の衣類を持参して、生徒たちに分配した。

しかし、適当なサイズがなかったりして、残念ながら全員には行き届かなかった。寒さに震えている生徒を目の前にして、私は申し訳ない気持ちでいっぱいだ。

インドは一年中暑い国だと勘違いされているが、１２月から２月まではとても冷え込むので、ジャンパー等防寒具が必要だ。エアコンやストーブという暖房器具もここカジュラーホーではほとんど使われていない。

新聞報道によると、ニューデリーや北部の州では寒波で何百人もの人々が死亡している。寒がりの私にとっても辛い季節だ。インドはやはり「暑い国」のイメージが似合っていると私は思う。

「震度７」、そのとき私は

Ｓ３３　商　大村実良

突然「ダダダダ・・・」と上下振動で目が覚めた。地震だろうと思う間もなく、部屋が滑る、横揺れだ。揺り返し。ようやく半身を起こす。「布団をかぶって」と家内が大声で叫んでいた。８年前の今月 17 日午前５時 46 分頃だった。立ちあがり部屋を出ようと足を踏み出した途端、いやと言うほど向こう脛を電話台にぶっつけた。これが幸いして、食器棚が倒れて飛び散った一面のガラス破片による大怪我を免れた。（大勢の人が、これで負傷した。）飛ばされた懐中電灯の行方を手探りで探すうち、油臭い匂い。ポリ缶をとりあえず起こす。懐中電灯の明かりの先には、無惨にも食卓に食器棚が倒れ、また冷蔵庫が重なり、行く手を阻んでいる。揺れが収まり無気味な静寂が辺りを覆う。瞬間、いままで持ちこたえていたのか、近くの建物が大音響で倒壊した。息子たちの住む４階が気になった。孫たちもいる。「私も行く」と家内が叫ぶ。しかし追ってこない。腰でも抜けているのか。隣りの 11 階建てでガラス窓を割る音がする。ドアが開かないのだろう。なぜか人の声がなかったような気がする。息子たちの所に駆け上がる。そのドアの下から水が流れ出ている。ドアを開くと、熱帯魚の水槽が倒れ水浸し。家具を取り除き出口を作っている最中だった。孫たちは無事のようだ。一番下の子を廊下へ出すと、階上の人が一人連れて降りると抱いて行ってくれた。

つぎは離れた娘婿の所だ。家内がまたもや叫んでいる。「私も行く」。時計は午前６時 10 分頃と記憶している。まだ暗かった。国道２号線へ出た。頭上の高速３号神戸線を支えるコンクリート橋柱は、ことごとく大きな亀裂が走っている。走れる状態ではない。迂回する道々すべて渋滞・行き止まり、なんどもUターンを繰り返す。ビルが倒壊して道を塞ぎ、高速道路の橋桁はもろくもはずれ、積み木崩れのように寸断されている。迂回・Ｕターン繰り返すうち、粥を煮やした家内はやがて「もう帰ろう、もう帰ろう」と叫びだす。あたりは猛火と吹き上げる水道管の水柱に、今車が何処を走っているのか、道に迷った。この時わが愛車の操縦は戦車なみである。瓦礫の中、車の傷つくのも今は許される。我が家は神戸西部の兵庫区、娘婿の家は東の灘区。幸いもっとも西の長田区の劫火に出会うことはなかった。

神戸新聞本社の建物がどこか変。背丈が低くなっていた。押しつぶされている。神鋼病院の駐車場にはベッドが並べられ、１月の寒空にさらされながら避難している大勢の人たちがいた。

どうにか娘婿の家に到達したときは、すでに７時 15 分を過ぎていた。いつもは、何分の一かで行き着く道のりであった。孫たちは、近所の人の車の中に避難していた。この付近は被害はひどく、木造の建物は全部といってよいほど倒壊していた。孫たちのマンションは幸い被害は少なかった。早速、下関のお袋さんに娘婿の携帯電話で無事をつげた。ところで、この携帯電話では笑えない話がある。無事を伝える人たちに、快く貸したその結果、何十万円の携帯電話料を支払う羽目となった人もあった。とやこうするうちに、横に来たお婆さんが小声で「チョッと手伝っていただけませんか」 と云う。事情を聞き、皆なして飛び出した。倒壊家屋のなかに、寝たきりのお爺さんが残っているという。いまだ各所で火の手があがっている。しかし水道管破裂による断水のため、いかんともする術がなかった。

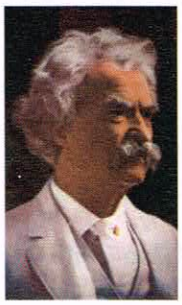
一家をあげて、比較的被害の少なかった兵庫の我が家まで引っ越すこととなった。帰途、電気も消え店のドアも閉ざされたコンビニの前で、行列している人達がいた。何でもよい、これからのために、まずは買い込んでおくと言うことであった。

私たちが、やっと我が家に帰りついたのは、すでに 12 時半をまわっていた。震災後燃え盛った火災は、その後３日間燃え続け、消す術はなかった。

CONNECTICUT

HARTFORD
NOOK FARM (corner of Farmington Ave. & Forest St.)
Mark Twain House (351 Farmington Ave.)
Harriet Beecher Stowe House (73 Forest St.)
REDDING
Mark Twain House : Stormfield (Fairfield County)

CONNECTICUT の発音には、ご承知の黙字 (silent letter) があります。真中の‘C’は発音されません。これは書かれる時に‘connect’との類推作用により、誤り挿入されたと推測されているそうです。この州名は、Mohican Indian の quinnitukqut(長い川) から名付けられたと云われています。独立宣言第一の署名州でした。州都 Hartford は“世界の保険首都”と呼ばれ、約 40 数社の大保険会社の本社があるそうです。往時、Blue Law(憂鬱な法律)State と、あだ名されて居たこともありました。“日曜日には公認の牧師様以外は川を渡るべからず”とか、また“安息日・断食日、母親は子供にキスをしてはならない”など、清教徒達の厳しい戒律が行われていたので、その様に呼ばれていたそうです。



HARTFORD 1870 年、Twain はヨーロッパ旅行で知りあった Elmira,NY の Charlie Langdon の妹 Livy こと Olivia と結婚、一時 Buffalo,NY に住んでいましたが、「The Innocents Abroad 赤毛布外遊記」(1869) 出版社長の招聘で、ここ Hartford に移り住むことになりました。50 キロ南の Long Island Sound に面した New Haven には、Harvard (1636～) と競う名門 Yale エール大学 (1701～) があります。

NOOK FARM (corner of Farmington Ave. & Forest St.)

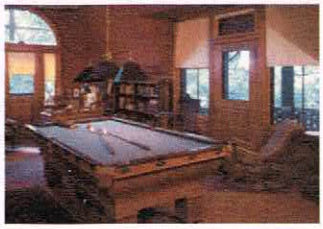
この一画には、Mark Twain や Charles Dudley Warner (「The Gilded Age 金ぴか時代」の共同執筆者) や、Harriet Beecher Stowe の旧宅もあります。当時 Nook Farm には十数軒の家々があり、各界知名人の住居が点在していたそうです。

Mark Twain House (351 Farmington Ave.)

1873 年に建て始められ、翌年に完成しました。19 の部屋と 18 の暖炉を持つ Third Floor の大邸宅で、当時は文人達の社交場でもありました。建物は三角屋根が並び、“ピジョン・ホール”とも見える破風壁造りと手のこんだ壁面装飾のため、“鳩時計の様だ”と囃されていました。ポーチはミシシッピー河を行く河蒸気のデッキを型取っています。全体として、ビクトリア朝風建物に東洋趣味が加えられています。派手な赤色系の彩りに、特異な興趣を覚えるのは私独りでしょうか。ただこの様子は、年代とともに幾たびかの変遷があったと云われます。

木造黒造りの広壮な玄関を入ると、左右に Guest Room と Drawing Room があります。この家の中心は、突き当たり左手の Library と云うことでした。それはまた Living room の役割も果たしていたからです。スコットランドから持ち込んだ巨大な mantelpiece があります。そのうえに“The ornament of a house is in the friends who frequent it”という Ralph Waldo Emerson からの引用句が掲げられていました。この図書室で Twain は家族に原稿を読み、その意見や批評を聞くことを常としていました。Olivia はよく Twain の「角を矯めた」と云われています。Twain の奔放さを危ぶんだからです。左手の続き部屋 Conservatory(温室) は、娘達が父の作品「王子と乞食」を上演する時、観客席ともなりました。Guest Room は W. D. Howells (1837-1920) たちも招かれましたが、家族劇上演の時には楽屋に早変わりしました。頻繁に開かれていたパーティは、図書室右手の Dining Room で行われたそうです。Second Floor への階段は、外輪船々尾の様子が取り入れられています。さて二階北東角の夫妻寝室の様子で、彼の派手好みを知ることができます。ベニスで求めた大きなベッドがあり、夫妻はその頭板の彫刻を眺めるため、枕を足元側に置いて眠に就いたそうです。ベッド支柱の取り外し自由の天使像は、飛行する怪物のようだと云う人も居ました。

Twain が Stormfield, Redding, CT で亡くなった時も、このベッドの上だったそうです。彼の半生を通じて、行動を共にしています。Third Floor の Billiard Room は、此処でもトゥエインの書斎として使われていました。階下で遅い朝食を済ませては、毎日ディナーまで仕事を続けます。窓を背に壁と本棚に向かい、他に注意を逸らさないようにして執筆していたそうです。もう一方の壁に、“整理棚”と呼ばれた戸棚があります。汚れたブーツから原稿まで、雑多なものを仕舞っていました。「The Adventures of Huckleberry Finn」の書きかけ原稿は、時の来る迄の数年間、ここで迷子扱いにされていたそうです。



壁と天井には、ビリアードのキューを交差させた図柄と、パイプそして樽形の葉巻入れが刷り込まれています。「The Adventures of Tom Sawyer」(1876)、「The Prince and the Pauper」(1822)、「Life on the Mississippi」(1883)、「The Adventures of Huckleberry Finn」(1884)、そして「A Connecticut Yankee in King Arthur's Court」(1889) などこの部屋で執筆されました。地下室は Museum となっています。河蒸気の模型や、「Harper's Magazine」誌などに掲載された古いこの家の写真もありました。

初版を飾ったエッチングや原画、またトゥエインの自転車、それに Twain を経済的危機におとし入れたあの Paige Compositor 植字機も展示されていました。ところで、ポートレイトで見る彼 Mark Twain は、読者に自分たちが経験したいと思う冒険を語ってくれる、モジャモジャ髭の作家と見られたかったのでしょうか、可なりの showman でもありました。赤毛は何時しか白髪となりましたが、晩年は夏冬かけて白いサージかフランネルの服を意識的に着込んでいたようです。とにもかくにも、彼はその世代で一番よく知られ、一番成功した作家でした。

1875 年から 1890 年初め頃迄は、Twain の最も充実した時代でした。Hartford では上流社会や裕福な文学愛好者に囲まれ、年収は当時 10 万ドルを越えることも屡々だったそうです。しかし、植字機で 10 年間に当時の金額で 30 万ドル、また出版社を任していた甥の無謀な出版社経営で 12 万ドル。これらの負債を背負い込み、破産状態に陥りました。1891 年、彼はは借金返済のため、60 歳の老躯に鞭打ち、講演旅行のため酷暑の大陸横断へと出かけ、4 年後、やっと彼は負債の全額返済に成功しました。

1896 年、最愛の長女 Susie (Susy) を失った後、家族はヨーロッパへと出発しました。だがその後も Twain 一家の不幸は続き、一家は二度と Hartford へ帰ることはありませんでした。1902 年には“マーク・トゥエインの家売ります”の広告が出され、備えつけの家具も競売に付されました。1903 年以後、この建物はボーイズ・スクール、そして時には倉庫やアパートともなります。やがて、ハートフォード公立図書館の分室として修復・公開されこととなりました。(S31 米英　福田要;「アメリカ文学逍遥より」一部転載)

（広告）校正していただく方を探しています。
K-fukuda@cello/ocn.ne.jp までメールください。